

ASIAN AND MIDDLE EASTERN STUDIES TRIPOS Part IB

Japanese Studies

Thursday 31 May 2012 9.00 – 12.00

J.7 LITERARY JAPANESE

*Answer **both** sections and **all** questions*

*Write your number **not** your name on the cover sheet of **each** Answer Book.*

STATIONERY REQUIREMENTS

*20 Page Answer Book x 1
Rough Work Pad*

SPECIAL REQUIREMENTS

Handouts of the *Kokinshū*
and *Shinkokinshū* texts studied
will be provided in the exam
room.

**You may not start to read the questions
printed on the subsequent pages of this
question paper until instructed that you may
do so by the Invigilator.**

SECTION A

1 Translate the following passage from an unseen text into English, adding notes where you think they are needed. The headnotes are for reference only [single characters in bold refer to different manuscripts]. Do not forget the vocabulary items at the end on page 4 [45 marks].

九州の総称。太宰府を鎮西府と呼んだのがもと。一〇・一一国名・郡名の明記を期した意識的欠字。二三商売。類「商アキナフ」。二三たくさんの人。多くの人。類「数アマタ」。四朝鮮半島にあった古代国家の名。百濟・高句麗とともに朝鮮三国の一。東南部慶州の地から起こり、前五七年朴赫居世が建国。第十七代奈勿王の時、神功皇后と戦い、その後唐の封冊を受け、百濟・高句麗を滅ぼして朝鮮全土を統一したが、さらに唐の勢力を駆逐した。九三五年、五十六代で高麗の王建に滅ぼされた。ただし、平安時代は一般的に朝鮮半島のことを新羅と書いていたようである。①一四一「注六には「白木」とある。一五山が海岸に迫ってそそり立つ断崖絶壁の裾。一六船べり。類「舷フナハタ」。一七「映」の借字。一八とところが。しかるに。一九切り立った崖。絶壁。二三宇治拾遺「三四十丈ばかり余りたる上に」。一丈は十尺。三小さく身をかがめて。うづくま。類「縮ジマル」。宇治拾遺「つづまり居て」。三三「色」口舟具槽同。俗用之。三三船の方が一瞬早く出、虎は飛び掛かるのが遅かった。ので。「程」は時間の意。三四あと一丈ほどのところを飛びつき得ず。

今昔、鎮西ノ国ノ郡ニ住ケル人商セムガ為ニ、
船一ツニ数ノ人乗テ、新羅ニ渡ニケリ。
商シ畢テ返ケルニ、新羅ノ山ノ根ニ副テ漕行ケル程ニ、
船ニ水ナド汲入レムトテ、水ノ流レ出タル所ニテ船ヲ留メテ、
人ヲ下シテ水ヲ汲スル程ニ、船ニ乗タル者一人舷ニ居テ海
ヲ臨ケルニ、山ノ影移タリ。其レニ高キ岸ノ三四丈許上タ
ル上ニ、虎ノ縮リ居テ物ヲ伺フ様ニテ有ケレバ、其ノ影ノ海
ニ移タリケルヲ、傍ノ者共ニ此レヲ告テ、水汲ニ行タル者
共ナド忿ギ呼ビ乗セテ、手毎ニ臚ヲ取テ忿ギテ船ヲ出ケル時
ニ、其ノ虎岸ヨリ踊下リテ船ニ飛入ラムト為ルニ、船ハ疾ク
出ヅ、虎ハ落来ル程ノ遅ケレバ、今一丈許不踊着スシテ虎
海ニ落入ヌ。

question continues....

一 以下の船の人々の心理、宇治拾遺にみえず。
 二 何をすのらう。
 三 類「出イッ アユ」。
 四 駿河国の海中で鹿を襲り鰐の話が、卷二三第二三話にもみえ、わにぞめとされる。文選注に「鰐魚長二丈余、有四足、似亀隊長三尺甚利齒、虎及大鹿渡水鰐擊之比中斷」とある鰐魚とは別のものであらう。
 五 虎が切れた足をおとりに鰐をおびき寄せ、近づいたら飛び掛かろうとじつと身構えているさま。宇治拾遺一五五にも「虎、人の香を嗅ぎてついひらがりて、猫の鼠窺ふやうにてあるを」と類似の表現がみえる。
 六 「沖」の借字。卷一六第二二・二四・二五話などにも散見。
 七 陸の方へ。
 八 あおむけになつて。
 九 ばたばたと音をたてる。卷二三第二三話に「鰐二丈許ニ陸ニ被投上テフタメクヲ」とみえる。なお、卷一九第六話に「此ノ棹ニ懸タル鳥フタノトフタメク」とあり、「フタフタ」という擬態語から生じた動詞。
 一〇 「振」類「頭オトカヒ」。
 一一 「振」に同じ。類「師フルヒ」を借りて他動詞に用いたもの。
 一二 漢字表記を期した意識的欠字。
 一三 このころ、宇治拾遺は「なよなよ」となして「一本では「なへなへ」となして」とある。本集中、「ナヨ」にあたるべき漢字が欠字となつている現象と関係するか。
 一四 三肩に鰐を背負つて。

船ニ乗タル者共此レヲ見テ恐迷テ、船ヲ漕テ急ギ逃ルマ、
 二、集テ此ノ虎ニ目ヲ懸タリケルニ、虎海ニ落入テ暫許有テ游テ陸ニ上タルヲ見レバ、汀ニ平ナル石ノ有ル上ニ登ス。
 「何態為ルニカ有ラム」ト見レバ、虎ノ左ノ前足膝ヨリ下切レテ無シ。血出ユ。海ニ落ち入りツルニ、鰐ノ昨切タルナメリト見ル程ニ、其ノ切タル足ヲ海ニ浸シテ平ガリ居リ。
 而ル間、息ノ方ヨリ鰐、此ノ虎ノ居ル方ヲ差シテ来ル。鰐来テ虎ニ懸ルト見ル程ニ、虎右ノ方ノ前足ヲ以テ鰐ノ頭ニ爪ヲ打立テ、陸様ニ投上レバ、一丈許浜ニ被投上テ、鰐仰様ニテ砂ノ上ニフタメクヲ、虎走り寄テ、鰐ノ頭ノ下ヲ、踊リ懸テ昨テ、二度三度許打節テ、鰐ノ頭際ニ、虎肩ニ打懸テ手ヲ立タル様ナル巖ノ高サ五六丈許有ルヲ、今三ツノ足ヲ以テ、下坂ナド走り下ル様ニ走り登テ行ケレバ、船ノ内ニ有ル者共此レヲ見ルニ、半ハ皆死ヌル心地ス。
 「然ハ此ノ虎ノ為態ヲ見ルニ、船ニ飛入ナマシカバ、我等ハ一人残ル者無ク皆昨ヒ被殺テ、家ニ返テ妻子ノ顔モ不見デ

question continues....
 (TURN OVER)

- 四 垂直に切り立った断崖絶壁の形容。卷一四第四三話にもみえる。
 五 渠々としてすばやいさまの形容。卷一四第四三話にもみえる。
 六 生きた気がしなかつた。恐怖の形容として本集では常套の表現。
 七 行動。
 八 これ以下、「船ノ内ニテハ」まで、宇治拾遺にみえず。
 九 武器。特に上の「弓箭(弓矢)」に對して、刀劍類の総称。
 一〇 軍兵の意。類「軍イクサ」。
 一一 何ができようか、とてもかなうはずがない。
 一二 まったく船をこぐどころでなく。うわのそらで船をこいで。恐怖におのきなながら物事をする時の表現。「空」は意識・心理状態を意味する。
 一三 〇八頁注九。
 一四 これ以下、宇治拾遺にみえず。
 一五 まさに失うところであつた命を不思議に長らえて。九死に一生を得て。
 一六 しかるに。ところが。
 一七 むやみと。考えもなく。

死ナマシ。極キ弓箭杖ヲ持テ、千人ノ軍防クトモ更ニ益
 不有ジ。何況ヤ狭キ船ノ内ニテハ、大刀刀ヲ抜テ向会フトモ、
 然許彼レガ力ノ強ク足ノ早カラムニハ、何態ヲ可為キゾト、
 各云合テ肝心モ失セテ、船漕グ空モ無クテナム鎮西ニハ返
 リ来タリケル。各妻子ニ此ノ事ヲ語テ、奇異キ命ヲ生テ返
 タル事ヲナム喜ビケル。外ノ人モ此レヲ聞テ極クナム恐デ怖
 レケル。
 此レヲ思フニ、鱒モ海ノ中ニテハ猛ク賢キ者ナレバ、虎ノ
 海ニ落入タリケルヲ、足ヲバ昨切テケル也。其レニ由無ク、
 尚虎ヲ昨ハムトテ、陸近ク来テ命ヲ失ナフ也。
 然レバ万ノ事皆此レガ如ク也。人此レヲ聞テ、余リノ事ハ
 可止シ、只吉キ程ニテ可有キ也、トゾ人語り伝ヘタルトヤ。

‘Chinzei no hito Shiragi ni watarite tora ni au koto’ from *Konjaku monogatari*, Book 29, Tale 31 (NKBZ, vol. 24, pp. 429–31).

NB: The first two lacunae are deliberate; insert X. Translate the third one as ‘lying [there] limply’.

虎 tiger, 鱸 oars, 陸 dry land, 鱒 a tiger shark, 弓箭杖 bows and other weapons

SECTION B

- 2a Translate the following passage from a seen text into **English** adding notes where you think they are needed [12 marks]

又、治承四年ミナ月ノ比、ニハカニ都遷リ侍キ。イト思ヒノ外
 也シ事ナリ。ヲホカタ、此ノ京ノハジメヲ聞ケル事ハ、嵯峨ノ天皇
 ノ御時都ト定マリニケルヨリノチ、ステニ四百余歳ヲ経タリ。コト
 ナル故ナクテ容易クアラタマルベクモアラネバ、コレヲ世ノ人ヤス

question continues....
 (TURN OVER)

カラズ愁^{ウレ}へアヘル、^(マコト)実ニ事ハリニモ過ギタリ。サレド、トカク言^イフ
 カヒナクテ、^(ミカド)帝ヨリ始^{ハジ}メタテマツリテ、大臣・公卿、^ミミナ悉クウツ
 ロヒ給ヒヌ。世^{ツカ}ニ仕フルホドノ人、誰^{タレ}カ一人フルサトニ^ノ残り居^アラム。
^{ツカサクラキ}官位ニ思^シヲカケ、主君ノカゲヲ頼^{タノ}ムホドノ人ハ、一日ナリトモ疾^ト
 クウツロハムト^シ励^シミ、^五時ヲウシナヒ世ニ余^{アツ}サレテ、期^キスル所ナキモ
 ノハ、愁^{ウレ}へナガラ留^トマリ居^ブリ。軒^{ノキ}ヲアラソヒシ人ノ住^スマヒ、日ヲ経^ヘ
 ツ、荒^アレユク。家ハ^{コホ}壊タレテ^(ヨドカハ)淀河ニ浮^ウカビ、^(チ)地ハ眼^メノ前^{マエ}ニ^ハ畠トナル。
 人ノ心^{ミナ}皆アラタマリテ、^{ウシ}タゞ馬・鞍^{ウラ}ヲノミ重^{オモ}クス。牛^{ウシ}・車^{クルマ}ヲ用^{ヨウ}スル
 人ナシ。^(サイナシカイ)西南海ノ領所ヲネガヒテ、^(トウゴク)東北ノ庄園ヲコノマズ。ソノ時、
^{ヲノ}自^ノヅカラ事ノタヨリアリテ、^{ツノクニ}摂津国ノ今ノ京ニイタレリ。所^{トコロ}ノアリ
 サマヲ見^ミルニ、^ニ南ハ海チカクテ^{クダ}下^スレリ。波^{ナミ}ノ音^{ヲト}ツネニカマ^ニビスシク、

question continues....

塩^{シホ}風^{フウ}コトニハゲシ。内裏^{ウチ}ハ山^{ヤマ}ノ中^{ナカ}ナレバ、彼^{カノ}ノ木^キノ丸^{マロ}殿^{ドノ}モカクヤト、
 ナカ^ニカ^ク様^{ヤウ}カハリテ、優^{イウ}ナルカタモハベリ。日^ヒと^ニ壞^{コホ}チ、河^{カハ}モ狭^セニ
 運^{ハコ}ビクダス家^{イエ}、イヅクニ作^{ツク}レルニカアルラム。ナヲ、ムナシキ地^チハ
 オホク、ツクレル屋^ヤハスクナシ。

KAMO NO CHŌMEI, *Hōjōki* (SNKBT, vol. 39), pp. 7-8.

2b. Explain the grammar of コトナル故ナクテ容易クアラタマルベクモアラネバ
[3 marks]

(TURN OVER)

- 3 Describe and illustrate the main techniques used by *waka* poets. Handouts of the *Kokinshū* and *Shinkokinshū* texts studied will be provided in the exam room [15 marks].
- 4 ‘Japanese court poetry is unusually reliant on context for its appreciation’. Discuss [15 marks]
- 5 Translate the following passage from a seen text into **English** adding notes where you think they are needed [10 marks].

弥生も末の七日、明ぼのゝ空朧々として、月は在明に
 て光おさまれる物から、不二の峯幽にみえて、上野・谷
 中の花の梢、又いつかはと心ぼそし。むつまじきかぎり
 は宵よりつどひて、舟に乗て送る。千じゆと云所にて船
 をあがれば、前途三千里のおもひ胸にふさがりて、幻の
 らまたに離別の泪をそよく。
 行春や鳥啼魚の目は泪
 是を矢立の初として行道なをすまます。
 人々は途中に立ならびて、後かげのみゆる迄はと見送
 なるべし。

MATSUO BASHŌ, ‘Oku no hosomichi’, *Matsuo Bashō shū* (NKBZ, vol. 41), p. 342.

END OF PAPER